

# BIG BEN

- p1 英国文化を理解する活動盛ん
- p2 写真探訪 : Museum of London Dockland
- p3 領事便り : たびレジと旅券の残存有効期間
- p4-5 短信 : 日本人社会の動き
- p6 在英邦人数
- p6 会費請求のお知らせ
- p7 エッセー : 夏の楽しみ
- p8 理事の交代、新規加入の法人会員

ナローボート・トリップやガーデニング・セミナー

## 英国文化を理解する日本クラブの活動盛ん!

会員が参加できる日本クラブの活動が盛んだ。こういった活動は日英交流促進委員会や会員サービス委員会が企画運営しており、英国滞在中に英国文化を理解し、楽しもうという趣旨で行われている。今回はナローボート・トリップとガーデニング・セミナーといういかにも英国の伝統文化に触れる活動があったことを報告する。

また、こういった活動の告知は日本クラブからの「お知らせメール」で配信されるので、クラブへのメールアドレス登録が必須だ。登録は会員であれば家族を含めて誰でも [oshirase@nipponclub.co.uk](mailto:oshirase@nipponclub.co.uk) に名前と会員番号をメールするだけで出来る。



楽しい1日となったナローボート・トリップ参加者の皆さん

### <ナローボート・トリップ>

英国伝統のナローボートに乗船体験する日帰りバスツアーが6月23日(日)行われた。当日は天候にも恵まれ、ゴルダーズ・グリーンを出発したバスは一路英国最長の運河「グランド・ユニオン・カナル (Grand Union Canal)」へ向かった。子供も含めて満員の車内では後藤事務局長から詳細にわたる運河の説明があり、参加者は到着前に運河の歴史や技術的なことを知ることが出来た。

ノースハンプトンシャーのストーク・ブルーン・ロッ

ク (Stoke Bruerne Lock) から待望のナローボートに乗り込む。ボートの窓からは、トーパス (Towpass = 昔は馬がボートをけん引したので、その馬の通る運河沿いの小径) をのんびりと散歩する人、自転車で走り抜ける人、ジョギングする人たちが行きかう姿が見える。ここは英国ののどかなカントリーサイドである。

また、ここには英国でも有数の長い運河トンネル (2.8km) があり、乗船体験ではこのトンネルを潜り抜けた。参加者は18世紀の産業革命時に掘削された運河

(2面へ続く)

やトンネルの技術に感銘を受けるとともに、トンネルやロックを通過するために船体が細くなっていることを実際に見たり体験することが出来た。乗船後は運河沿いにある英国伝統のパブで昼食を取り、運河博物館で歴史的な資料や掘削方法などを見学し、楽しい一日を終えた。



会員の乗船したナローボート「インディアン・チーフ号」

### <ガーデニング・セミナー>

英国を英国らしくしているものにイングリッシュ・ガーデンがある。イングリッシュ・ガーデンとは何なのか、そんな問いに答えてくれるセミナーが7月11日（木）日本クラブ大会議室で開催された。講師は英国で園芸学、

ガーデン・デザインを学び、現在もグレート・ディクスターで研鑽を重ねている佐藤麻貴子氏で、

- イングリッシュ・ガーデンとは？
- イギリス国内のおすすめガーデン
- イングリッシュ・ガーデンを日本でも
- ガーデンのヒミツ（英国風？ 日本風？）

の4つのテーマでイングリッシュ・ガーデンの歴史や特徴、何処に行けば典型的なガーデンが見られるか、イングリッシュ・ガーデンは日本でも作れること、また日本庭園との違い等の分かりやすい説明があった。



ガーデニング・セミナー風景

## 写真探訪 Around London

## [Museum of London Docklands]

ドックランドのカナリー・ワーフにほど近いところに2003年にオープンしたロンドン・ドックランド博物館がある。1802年に砂糖倉庫として建てられたこの建物は今では歴史保存物となっている。主にローマ時代から1970年代に閉鎖されるまでのドックランドの歴史を展示しているが、興味があるのは、この建物が奴隷貿易が盛んな時にその富で建てられたものであるということだ。当時英国は西インド諸島に奴隷を送り込み、砂糖の栽培をして巨額の利益を得ていたが、正にその砂糖の倉庫としてこの建物は建てられた。さすが英国だと思えるのは、奴隷貿易を負の歴史として隠すことなく、館内には奴隷の歴史を系統だててきちんと説明している展示があることだ。英国はちなみに1807年に奴隷制度を廃止している。（文・写真：加藤節雄）





## 「たびレジ」と パスポートの残存有効期間

今月号の領事だよりでは、「たびレジ」とパスポートの残存有効期間についてお知らせします。

### ●「たびレジ」

「たびレジ」は、海外旅行や海外出張される方が、インターネットで旅行日程・滞在先・連絡先などを登録しておく、滞在先の最新の海外安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、また、いざという時の緊急連絡などが受けられるという大変便利なシステムです。メールの宛先として、ご自身のアドレス以外にご家族や職場のアドレスも登録できます。

#### 1 「たびレジ」登録

「たびレジ」登録には、①通常の「たびレジ」登録と②簡易登録の2つの登録方法があります。

- ① 通常の「たびレジ」登録は、新規に「たびレジ」登録される方、あるいは既に登録した「たびレジ」情報を変更される方向けのものです。
- ② 簡易登録は、旅行・出張予定はないけれども、関心のある国の安全情報や、在外公館が発出する一斉通報を入手したいという方や企業・団体向けのものです。

#### 2 「たびレジ」登録の利点

##### (1) 緊急時の情報提供

登録したすべてのメールアドレスで、最新海外安全情報メールや在外公館が発出する緊急一斉通報が入手できます。

##### (2) 緊急時の連絡

「たびレジ」登録すると、旅行先の国・地域で緊急事態が発生した場合には、登録した電話番号や、滞在先の情報を基に、緊急時の連絡を行います。

##### (3) お役立ち情報の提供

「たびレジ」に旅行日程を登録すると、旅行先在外公館の連絡先や、旅行先国の海外安全情報などを入手できます。

詳しくはこちらの外務省たびレジサイトを御覧ください。[www.ezairyu.mofa.go.jp/index.html](http://www.ezairyu.mofa.go.jp/index.html)

### ●パスポートの残存有効期限

海外渡航を計画し、いざ空港の航空会社の窓口でチェックインしようとした際、渡航先国で必要とされるパスポートの残存有効期間が不足していることがわかり、渡航をあきらめなければならないケースが発生しています。

各国が外国人のパスポートに求める残存有効期間は様々ですが、おおよそ3～6か月以上とされている場合が多く、英国の近隣国では、アイルランドはアイルランド出国時に6か月以上、シェンゲン協定域内国はその国の出国時に3か月以上が必要とされています。海外渡航を計画される際には、必要となるパスポートの残存有効期間をご確認ください。

また、パスポートの査証欄余白ページが十分にあるかどうかが問われる国もありますので、こちらにもご注意ください。



# 短 信

COMMUNITY PLAZA



## 小田博教授に 在外公館長表彰

ロンドン大学（UCL）教授でロシア法の権威である小田博教授が、法律分野での日英の相互理解に貢献した理由で在外公館長表彰を受章した。小田教授は1990年にはUCLで日本の法律を教えるサー・アーネスト・サトウ教授に任命されている。教授には“Japanese Law”, “Russian Commercial Law and Russian Law”等の著書もある。また、教授は国際間の紛争の訴訟や調停の分野でも活躍している。2018年にはUCLに日本の法律研究をする「サー・アーネスト・サトウ日本法研究センター」を開設、UCLと日本の大学との学生交換留学も含めた法律学の分野での協力の強化に努めており、これはまた、日英の法律の分野での一層の相互理解に貢献するものである。表彰式は6月18日（火）日本大使公邸で行われた。（写真①日本大使館提供）

## ヒルトン英海軍中佐に 在外公館長表彰

英海軍中佐デイビッド・ヒルトン氏（Commander David Hilton）が日英の防衛分野において多大な貢献をしたことにより、在外公館長表彰を受章した。中佐は英海軍ポーツマス基地役員マネージャーとして同基地の後方支援業務を統括しており、海上自衛隊練習艦隊の寄港を2013年、16年、18年の3回に渡り行っている。いずれの

時も同氏が周到な調整及び支援を行ったこともあり、同艦隊は英国における任務を完遂できた。特に18年寄港時の日英物品役務相互提供協定（ACSA）の初適用に際しては、英海軍・国防省関係各部と綿密に調整を行い、円滑な後方支援を実施することで日英海軍種間の相互運用性向上に多大な貢献をした。表彰式は7月4日（木）日本大使館で行われた自衛隊記念日レセプションの会場で行われた。（写真②日本大使館提供）

## セラ・パーソン氏に 在外公館長表彰

パーソン（Sarah Parson）氏は1995年から97年までJETプログラム派遣で群馬県に滞在し、帰国後も日本及び日本文化に興味を持ち、ロンドンで自治体国際化協会に就職、日本各地から派遣されてくる日本人職員の世話をし、また、JET帰国者の同窓会であるJETAAのロンドン支部の会計を務めた。2013年にはJETAAのキャリア・コーディネーターとなり、JET帰国者のための就職フェアを開催したり、翌年の14年から19年まで6,000人を超す会員を持つ全国JETAAの会長として、JET同窓会のまとめ役を果たしている。表彰式は7月19日（金）ロンドン大学（SOAS）で行われた今年JET派遣で日本へ行く人のためのレセプションの会場で行われ、鶴岡大使より表彰状が手渡された。（写真③日本大使館提供）

## 「安野光雅の世界」展

絵本作家として日本だけでなく世界的に数々の賞を受賞している安野光雅の作品展がロンドンで開催されている。1926年島根県で生まれた安野は小学校の美術教員をしていたが、35歳の時に画家として独立、42歳で絵本作家としてデビューした。幅広い分野に造詣の深い安野はその豊かな知識と卓越したセンスで透明感あふれる水彩スケッチや切り絵など様々な手法を駆使して多岐にわたる作品を手がけている。展覧会では初期の切り絵作品から英国の風景を描いた『旅の絵本Ⅲ』（イギリス編）の全原画まで87点が展示されている。（写真④）

●「Anno's Journey: The World of Anno Mitsumasa 安野光雅の世界」展  
ジャパン・ハウス・ロンドン地下ギャラリー

101-111 Kensington High Street,  
London W8 5SA

10月27日（日）まで（入場無料）

[www.japanhouselondon.uk](http://www.japanhouselondon.uk)

## 「翼」ロンドン演奏会

早稲田大学の男声合唱団「コール・ブリュージュ」OBと現役学生合わせて15名によるコーラスグループ「翼」がロンドンで演奏会を開催する。曲目は宗教曲「グロリア」「ハイリグ」「アベ・マリア」を始め、アイルランド

# 短 信

COMMUNITY PLAZA



民謡の「Down by the Sally Garden」「ダニー・ボーイ」「庭の千草」、そして日本の歌「春の小川」「鯉のぼり」「村の鍛冶屋」等を歌う。当日は日本クラブ女性合唱団グリーンコーラスが賛助出演をする。(写真⑤)

● The Wings London Concert  
St John's Wood Church  
Lord's Roundabout,  
London N8 7NE  
9月14日(土) 午後3時開演  
🚶 St John's Wood (Jubilee Line)  
入場無料  
[www.stjohnswoodchurch.org.uk](http://www.stjohnswoodchurch.org.uk)

**UK-Japan "Bridge Together" Show**  
英国のジャズ・ファンク・グループ「ジェームズ・テイラー・カルテット」(James Taylor Quartet)により日本の歌謡曲をジャズ風にアレンジして、美空ひばり、サザン・オールスターズ、植木等、ザ・ピーナッツといった懐かしい昭和時代の歌手の曲を演奏すると

いうユニークなコンサートが開催される。日本のアニメソングやアイドル歌手はすでに世界に広まりつつあるが、日本の音楽史を支えてきた日本の古き良き時代の歌手や歌謡曲は未だあまり知られていない。日本のポップ・カルチャーの基盤となったともいえるこれらの日本の名曲を英国のジャズ・ファンクによって新しい形で紹介しようという試みだ。当日は、<sup>だいがくらし</sup>太神楽師の鏡味<sup>かがみ</sup>千代<sup>みちよ</sup>が出演し、日本の伝統芸能も織り交ぜて視覚的にも日本文化を紹介する。また、歌手の夏木マリが特別出演する。(写真⑥)

● UK-Japan "Bridge Together"  
10月1日(火) 午後7時開演  
Cadogan Hall : 5 Sloane Terrace,  
London SW1X 9DQ  
🚶 Sloane Square  
チケット : £30  
<http://cadoganhall.com>  
問い合わせ :  
[naomisuzuki7@icloud.com](mailto:naomisuzuki7@icloud.com)

**アントニー・ゴームリー展**  
世界的に有名な英国の彫刻家アントニー・ゴームリーの新作を含めた展覧会が開かれる。ゴームリーは人体と自然そして宇宙との関係をテーマに大きな鉄製の人体像を海岸やビルの屋上に置いたりしている。展覧会では1970年代後半から80年代前半にかけての初期の作品から今回の展覧会のために制作した参観者が自分の体を動かして参加できるインスタレーションまでロイヤル・アカデミーのメイン・ギャラリーに展示される。(写真⑦)

● Antony Gormley  
9月21日(土) ~ 12月3日(火)  
Royal Academy of Arts  
Burlington House, Piccadilly,  
London W1J 0BD  
入場料 : £18 ~ £22  
[www.royalacademy.org.uk](http://www.royalacademy.org.uk)

## タワー・ブリッジ開門を目撃

7月13日(土)に行われた坂次健司さんのガイドによるシティ散策ツアー「東」コースの終了直後に「タワー・ブリッジが開く」というニュースが飛び込んできた。早速、自由参加で見学することになった。ほとんどの人がタワー・ブリッジの開門を見るのは初め

てであり、「ラッキー！」と嬉しい歓声を上げた。中には8年もロンドンに住んでいるが見たことはないと言う人もいた。開門時間は定期的に決まっているわけではなく、ツアーに盛り込むのは難しいので、この日は正に幸運なツアーとなった。



# 在英邦人数 60,620 人

前年より2,268人減少

【表 1】在英邦人数及び増減状況（在留届出ベース）  
平成 30 年（2018 年）10 月 1 日現在

在エジンバラ総領事館管轄 2,652 人を含む）

	合計			構成比	増減	対前年比	
	男	女	計				
1 長期滞在者	①民間企業関係者及び家族	8,480	7,721	16,201	26.73%	- 1,551	- 8.74%
	②報道関係者及び家族	120	134	254	0.42%	- 19	- 6.96%
	③自由業関係者及び家族	822	1,306	2,128	3.51%	- 142	- 6.26%
	④留学生・研究者・教師及び家族	3,942	6,831	10,773	17.77%	- 2,516	- 18.93%
	⑤政府関係職員及び家族	349	341	690	1.14%	- 32	- 4.43%
	⑥その他	2,026	4,279	6,305	10.40%	- 468	- 6.91%
	小計（①～⑥）	15,739	20,612	36,351	59.97%	- 4,728	- 11.51%
2 永住者	7,483	16,786	24,269	40.03%	+ 2,460	+ 11.28%	
3 総数（1+2）	23,222	37,398	60,620	100.00%	- 2,268	- 3.61%	

【表 2】邦人の地理的分布

地域別	平成 30 年	平成 29 年
イングランド	57,494	60,151
大ロンドン市 (グレーター・ロンドン)	(29,667)	(34,298)
スコットランド	1,877	1,562
ウェールズ	915	873
北アイルランド	218	203
その他の諸島	116	99
合計	60,620	62,888

在留邦人の増減では、民間企業関係者及び留学生・研究者・教師及び家族の減少が顕著だが、永住者は、約 2,500 人増加している。また、地域別では、グレーター・ロンドンに居住する邦人が、在留邦人の約半数を占めている。（資料提供：在英国日本国大使館）

## 会員の皆様へお願い

- ★日本クラブは、2019 年 10 月より新年度に入ります。
- ★新たに英国の永住権を取得した方、永住者で 60 才となられた方（9 月 30 日までに満 60 歳になる方を含む）会員区分を変更しますので、9 月 20 日（金）までに永住権及び年令の証明書（コピー）を事務局にご提出ください。既に変更された方は提出していただく必要はありません。発行後の変更は翌年の請求からとなりますのでご了承ください。
- ★新年度の更新を希望しない方は 9 月 20 日（金）までに、9 月 30 日付の退会届を提出してください。
- ★住所を変更された方は、住所変更届をご提出ください。
- ★ご質問・ご不明点がある方は事務局にご連絡ください。  
連絡先 [m.konotsune@nipponclub.co.uk](mailto:m.konotsune@nipponclub.co.uk)  
020-7921-9490 担当：此常（このつね）

## 2020 年度会費請求のお知らせ（2019 年 10 月～2020 年 9 月）

個人会員には 9 月下旬に新年度年会費請求書を送らせて頂きますので、デビット・クレジットカード（電話受付可・Amex Card は除く）、又は銀行送金（インボイス番号入力必須）にてお支払いくださるようお願いいたします。上記の支払いが難しい方は小切手でも受け付けます。

また、法人会員正会員の方々には 10 月初旬に法人会社ごとに纏めて発行いたします。

\* 会員料金は下記表の通りです。

会員種別	会員区分	入会単位	会費/年
法人会員	正会員	家族	£ 145
	駐在員	家族	£ 145
個人会員	一般	家族	£ 45
	永住者	家族	£ 25
	同上 60 歳以上	家族	£ 15
	学生	個人	£ 30



## 夏の幸せ

イギリスに住んでいると、天気の良いだけで幸せ度が一気に増します。昼食時には戸外で頬張れば、いつものサンドイッチも格段においしく感じ、ピクニック気分です。もちろん会社が引ければ、すぐには帰らず、パブで一杯が二杯となります。家に帰って簡単な夕食を食べた後も、まだ明るいので散歩に出かけ、ゆっくりと空を眺めれば、ツバメが右へ左へと舞って行き、本当に幸せな気分になります。

そんなある日、やはり散歩へ出かけようとしていた近所のおばさん二人に会いました。なぜか長い棒とバケツを持っているので、不思議に思って訳を尋ねると、「スロー・ジン」を作るからという返答でした。最初は時間をかけて熟成させるジンなのかと思い、梅酒のようになり寝かせるのかと想像して、「できるまでどのくらいかかるのか」と聞きました。すると、「slow」じゃなくて“sloe”よ」と大笑いされてしまいました。これから近くの野原に自生しているサンザシの実を取って、スロー・ジンを作るという意味でした。その実がかなり上の方にあるので、棒で枝を降ろし、摘んだ実をバケツに集めるという手はずとわかりました。

このように、家庭で作る人は減っているでしょうが、飲む人は増え、最近のイギリスはジンプームです。本格的なジンにはジュニパーベリーは欠かせないとしても、その他はかなり自由に、それぞれの醸造所が工夫を凝らしてハーブや果物などを加えて、個性的なジンを生み出しています。ラベンダーにしても、フランスのものが甘い香りなのに対して、イギリスのものはどちらかというとき青臭いような植物性の強い香りです。香水も飲み物も、



サンザシの実

ナチュラル・テイストなのが、イギリス流なのかもしれません。

サンザシの実を摘むのは、おばさん達のように、スロー・ジンを作る術を心得ている人達ですが、散歩の途中でブラックベリーを摘む人は多く見かけます。雨上がりであれば、そのまま口にして、甘い実かどうかすぐにチェックできます。農園にわざわざ行かなくても、近所やあるいは庭で調達することが可能で、子供たちが夢中で取っています。普段は蔓延<sup>はびこ</sup>って厄介者のブラックベリーですが、夏だけは注目の的となります。

他にもストロベリーを筆頭に、ラズベリー、ブルーベリー、レッドカラント、ブラックカラント、グーズベリーなどが家庭菜園で収穫されたり、店頭に並んだり、イギリスの夏はソフトフルーツの天国です。それらを生かしたサマー・プディングは、別名“hydropathic pudding”（湯治場プディング）と言われ、蒸したり、焼いたりする手間もなく、軽くて胃の負担にならず、美容と健康に良いプディングとして親しまれています。ぜひ、自然の恵みに満ちたイギリスの夏を楽しんでください。

## 日本庭園清掃作業 10月13日(日)

恒例のシェパーズ・ブッシュにあるハマースミス公園の日本庭園清掃作業が今年も10月13日(日)午前11時より午後3時まで行われます。毎年ハマースミス&フラム区、日本庭園友の会とともに行われるこの清掃作業には日本クラブから毎年多数のボランティアが参加し、池の藻の除去や樹木の剪定に汗を流します。詳しくは日本クラブより送られる「お知らせメール」で告知されます。



昨年の清掃作業に集まったボランティアの方々

## 日本クラブ理事の交代

◆広報委員会（正）：石合力氏から国末憲人氏へ（ともに朝日新聞）

## 新規加入の法人会員

◆あおぞら銀行 Aozora Europe

## メールアドレス登録を

日本クラブでは「びっぐべん」「診療所だより」その他各種催し物案内や会員の特典情報等をメールで配信しています。メールアドレス登録は [oshirase@nipponclub.co.uk](mailto:oshirase@nipponclub.co.uk) に名前と会員番号をメールするだけで出来ます。会員であれば家族を含めて誰でも登録できます。

## 日本クラブ・ゴルフ同好会

◆月例会：開催中  
◆会場：Maidenhead Golf Club  
◆問い合わせ：☎ 07956-551363（外山健二）  
[kenjitoyama787@gmail.com](mailto:kenjitoyama787@gmail.com)  
随時入会受付中（申し込みはHPから）

## 日本クラブ・ブリッジ会

◆例会：毎週木曜日（11:30am 開始）  
◆会場：ヤングチェルシー・ブリッジクラブ  
<http://ycbc.co.uk>  
◆問い合わせ：[yasy9395@aol.com](mailto:yasy9395@aol.com)（宮崎）  
見学者歓迎

## 日本クラブ・グリーンコーラス

◆練習日：毎週月曜日（10:15～12:30）  
◆会場：Trinity Church, Golders Green  
◆問い合わせ：  
[londongreenchorus@gmail.com](mailto:londongreenchorus@gmail.com)

## 日本クラブ囲碁会

◆例会：毎週土曜日（14:00～20:00）  
◆会場：Inn of Court Pub  
地下鉄 Chancery Lane Exit 3より直進2分  
◆問い合わせ：☎ 07956-594040（田中）  
[tanaka@gokichi.org.uk](mailto:tanaka@gokichi.org.uk)

## クラブサロンのご利用を！

日本クラブのクラブサロンはロンドン中心部セント・ポール大聖堂のテムズ川対岸のサザックにあります。ラウンジや会議室、ソフトドリンク、JSTV等のサービス施設があります。テムズ川南岸のこの地区は再開発が進むエリアで、テートモダン・ギャラリーを始め、数々の店やレストランが並んでいます。地下鉄ジュビリー線のサザック駅から徒歩5分、ロンドン・ブリッジ駅からは10分の便利な場所にあります。会員であれば誰でもご利用になれます。



地図はホームページ（[www.nipponclub.co.uk](http://www.nipponclub.co.uk)）の「日本クラブご案内図はこちら」を参照してください。

- \*建物入口のレセプションで、日本クラブへ行くと教えてください。（会員証の提示を求められることもあります）
- \*閉館時間以外はシャッターが閉まっていて入場出来ません。

### ● Nippon Club

Ground floor, Europoint Centre

5-11 Lavington Street, Southwark, London SE1 0NZ

\*平日午後6時以降と土曜日は会議室の利用状況により閉館することがあります。

TEL：020-7921-9490, Email：[jimukyoku@nipponclub.co.uk](mailto:jimukyoku@nipponclub.co.uk)

月曜～金曜：午前10時～午後9時（事務局は午後6時まで）

土曜：午前10時～午後4時（事務局は休日）

日曜・祭日は原則休館

## ロンドン日本人学校

ロンドンにある特性を生かしつつ、学習指導要領に準じた教育を実践しています

- 運動会・文化祭などの行事
- 整った学習環境
- きめ細かな進路指導・進路講演会
- 英会話や英語活動
- 英語検定や漢字検定の実施
- 現地校との交流
- 放課後の楽しい部活動（5年生以上）
- 通学バス利用可



## ロンドン補習授業校

英国の現地校等に通学している子ども達が、国語（日本語）の勉強をする「サタデースクール」です

- 毎週土曜日上午中授業
- 授業回数年間約40回
- 校舎はアクトン、プレント、クロイドンの3校舎
- 小・中学部・高等部（学習指導要領に準じたカリキュラム）
- 日本語科（日本語を第2母国語とし、日本語の習得を望む児童生徒対象に7クラス設置）

入学・転入学随時受付 TEL: 020-8993-7145

● 日本クラブ 在英日本企業300社がサポートしています / 英国で50年以上に亘り日本語で最新医療を提供しています

# NIPPON CLUB メディカルクリニック

内科  
小児科  
一般診療

東京慈恵会医科大学の派遣医師が常勤しています

- 各種旅行傷害保険取扱
- 海外派遣員医療保険取扱
- 健康診断・婦人科検診随時実施
- キャッシュレス対応

内科・小児科を中心とした一般診療に加え、健康診断、乳幼児検診、婦人科検診、各種予防接種を行うほか、日本人専門医による内視鏡検査も行っています。最新設備を備えた総合病院内で診療しているため、CT/MRIなどの専門検査や各種専門医への紹介・入院手続が可能です。

旅行  
保険で  
キャッシュ  
レス

[www.nipponclub.co.uk/clinic](http://www.nipponclub.co.uk/clinic)

Hospital of St John & St Elizabeth (Brampton House 1F)

60 Grove End Road, London NW8 9NH (Jubilee線St John's Wood駅から徒歩3分)

020-7266-1121

(要予約、年末年始と祝日を除く毎日診療)